

保護者各位

射水市立大門中学校

校長 寺 島 貴 幸

大門中学校 家庭学習がんばる週間について

秋冷の候 保護者の皆様におかれましては、日頃より本校教育活動にご理解と、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、夏休み明けに、1学期の学校評価アンケートの結果を配付いたしました。その結果から、子供たちの家庭学習にかける時間が本校アクションプランの目標値に到達していないことが分かりました。家庭学習は、主体的な学びであり、子供たちの成長にとっても有意義であると学校では考えています。そこで、下記のとおり、「家庭学習がんばる週間」を設定いたします。ご配慮いただき、子供たちの成長をともに見守っていただきますよう、ご協力お願いします。

記

I. 「家庭学習がんばる週間」

1、2年生 11月11日(月)～11月17日(日)…期末考査前

3年生 10月29日(火)～11月4日(月) …中教研学力調査前

学校と家庭とで、子供を見守り、みんなで協力して、家庭学習の充実を図りましょう。

2. 子供たちは Teams から各自の学習時間を管理します。

- ① 期間中、各学級の teams にアクセスします。(インターネット環境がない人は学校でやっても構いません)
- ② 課題タブから、家庭学習がんばる週間 記入シート(エクセル)にアクセスします。
- ③ エクセル(表計算ソフト)に「自分の目標」と毎日の学習時間の欄に授業以外の学習時間を「分単位」で入力します。毎日の学習内容やタブレット学習内容、時間も入力します。
- ④ 友達の学習時間や学習内容は閲覧できます。(個人名は分からないようにしてあります)

【お願い】

学力向上には「主体的に学習に取り組む態度」の育成が必要です。そのためには、学校での学習だけでなく、家庭での学習や家族の関わりがとても大切です。富山県教育委員会からの「家庭学習のすすめ」を大門中学校ホームページや安心安全メールに添付しました。「主体的に学習に取り組む態度」を育てる3つのポイントや親子で話し合う内容項目チェックリストがあります。「学習のすすめ」をお子さんと読む時間をとっていただき、家庭学習に取り組む時間や学習内容について話していただきたいと思います。

かく すく しゅう

家庭学習の 家庭ですすめ

おやこ
はな
親子で話してみましょう

主題的に学習に取り組む態度が身に付くよう、家庭での生活について親子と一緒に確認してみましょう。

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 每日、同じくらいの時刻に起きている。
- 毎日、朝食を食べている。
- 本や新聞、電子書籍を読む習慣が身に付いている。
- 時間を決めて学習している。
- 計画立てて家庭学習に取り組んでいる。
- テレビやゲーム、ネットなどの時間を決めている。
- 携帯電話（スマートなど）を使用するときのルールやマナーについて親子で話し合っている。
- 心を落ち着け、リラックスする時間がある。
- 社会や学校での出来事について親子で話をしている。



学習に取り組む時間帯を親子で一緒に考え、表に書き入れてみましょう。

学習に取り組む時間帯を示す											
午前											
午後											
5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11											

- 【平日】
- ・学校から帰つてすぐに
 - ・夕食後に
 - ・朝食前に
- 【休日】
- ・午前
 - ・午後

子供たちの学力の向上には、「主体的に学習に取り組む態度」の育成が必要です。そのためには、学校での学習だけでなく、家庭での学習や家庭における知識・技能の定着を通して知的好奇心を培い、夢や目標をもつことができるよう、子供に声をかけたり話し合ったりすることで、家庭学習の内容を充実させましょう。

* 「主体的に学習に取り組む」とは、次のような姿です。
・幅広く学習に取り組む
・これまでの学習活動を振り返って次の学習につなげる
保護者の働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。
保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。
(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な調査分析に関する調査研究)
(令和4年度学力調査を活用した専門的な調査分析に関する調査研究)

例えば……

テレビゲーム（スマートフォンなどの利用を含む）をする時間などを決めている。



立派な時間管理をするなど人の役に立つ人間になることを重視している。



令和6年6月 富山県教育委員会



「家庭学習のすすめ」

本や新聞、電子書籍を読むようにすすめています。

「主体的に学習に取り組む態度」を育てましょう

～学校・家庭・地域で学んだことが、明日、そして将来につながるように～

家庭学習を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育てるための3つのポイント

意欲を高める

子供ががんばっていることを家族で応援しましょう。

子供は、自分ががんばっていることを認められると、もっとやつてみようという気持になり、いろいろなことにチャレンジしようとする意欲を高めます。

こんな一言を

- ・勉強や部活動でがんばっている姿を見るとうれしいな。
- ・目標に向かって努力しているね。
- ・自分で考えて行動できるようになつたね。
- ・計画通り行動できたから、時間にゆとりができるだね。

生活習慣慣習を整える

子供が生活のリズムを整えられるよう家族で協力しましょう。

テレビやゲーム、インターネットの時間など、家庭での過ごし方を家族みんなで考え、生活習慣を整えることで、学習に集中する環境を整えることができます。

こんな一言を

- ・どんな時間の使い方をしたらいいかな。
- ・みんなで決めたルールを守っているね。
- ・自分で考えて行動できるようになつたね。
- ・最後までやり抜くことができるといいね。

将来の夢を育む

子供と共に、将来の夢や目標について家族で語り合いましょう。

社会で話題になっていることや、子供が興味をもつていることなど、子供といろいろな話をすることで、子供の根野は広がり、将来の夢や目標をもちつこにつながります。

こんな一言を

- ・今話題の〇〇って、どういうことかな。
- ・新聞にこんなことが書いてあったよ。
- ・どんな分野の勉強がいるのか。
- ・将来〇〇になるには、どんな力が必要なのかな。

粘り強く、継続して取り組む学習

- 理解を確かめるために、授業のノートを見直し、教科書や資料集、動画視聴等を基にポイントを書き加える。
- テストで正答できなかつた問題を見直し、類似の問題に取り組む。
- 授業で疑問に思ったことを、教科書や資料集などを使って調べる。
- 英語の表現力を高めるために、辞書を使って英語で日記を書く。
- タブレット端末を持ち帰り、動画やデジタル教材等を用いて授業の予習・復習を行う。

自主学習例

興味・関心に応じて取り組む学習

- 興味・関心のある分野の知識を深めるために、インターネットや専門書を活用して、最先端の情報を調べる。
- 技術・家庭科で学習したものづくりや調理、裁縫などの技術を生かし、生活をよりよくするために、社会情勢などに目を向け、新聞の記事やコラムを読み、考えたことについて家族や友達と話し合う。